

はじめに

世界的な金融危機から始まった世界経済の不確実性が、ヨーロッパの財政危機によって拡大し、なかなか解決の糸口を見つけられずにいる中で、世界経済の成長エンジンの役割を担っていた中国をはじめとする新興国の経済も下降傾向にはいる状況下では企業のリスク管理がどの時よりも重要な時点にきています。

リスク管理には正確で意味ある統計を通じた分析が必須である。本書が紹介している多様な統計はこのような企業の要求に答えることができると信じています。

製品別・業者別に市場規模データを提供する「韓国の産業と市場」は1989年以後毎年企画、出版されていて、2012年版では韓国の産業を16分野の産業に分類して業種別・製品別生産実績、輸出入推移、市場規模など国内外で発表された意味ある統計データを収録しています。

したがって、このような統計情報は最高経営者はもちろん企画、営業、マーケティング、新製品開発、新事業開発、R&Dなどの実務者にはもっとも有益な情報資料になるでしょう。

産業間の境界が崩れて産業間融合による新事業の登場などに見られるように、企業の生存と発展のためには絶え間ない革新が要求されており、そのためには同業はもとより異業種さらには関連産業に対する包括的な情報の分析が必須となります。

今後も本書は、新成長産業や未来産業に対する予測を通じて変貌する産業構造を提示することができる多様なデータを収集して、企業の要求に答えられるように努力する所存です。私たちは本書が事業経営に少しでも役立つことを願っています。

本書の出版に際してご援助ならびに協力くださいました多くの方々に心より感謝申し上げます。

2012年11月

テイコ産業研究所

